



環境省

発行:平成23年3月 環境省 自然環境局
 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
<http://www.env.go.jp/nature/satoyama/top.html>

事例集 自然と共に生きるにぎわいの里づくりのために



事例集 **自然と共に生きる
にぎわいの里づくりのために**



地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

環境省

はじめよう! 「自然と共に生きるにぎわいの里づくり」

わが国では、長年にわたる人と自然のかかわりの歴史を通じて、集落を中心に資源が循環し、持続的に自然の恵みを享受する空間が形成され維持されてきました。

それが里地里山です。

人々の営みがつくり出した里地里山は、農林業による生産や人々の生活の場としてわが国を支えてきましたが、今日では、多様な生物の生息・生育環境として、また、地域特有の良好な景観や伝統文化の基盤として、さらには子供たちをはじめ自然離れしてしまった都市住民の自然体験の場としても重要な意義や機能を発揮しています。

しかし、近年の社会経済の変化に伴い里地里山で暮らす人々の減少や高齢化の進行などにより、これまで様々な場所であたり前のように行われてきた農林家や地域の方々による農林業や暮らしの営みも減退してきていることから、ここに暮らす方々だけでは、里地里山特有の変化に富んだモザイクのような自然環境やそこに根ざした恵み、豊かな生物多様性を維持管理していくことが困難になっています。

国土のおよそ4割を占める里地里山の恵みを未来に引き継いでいくためには、都市に住む人々や民間団体、企業などあらゆる主体が参加する国民的運動として里地里山の保全活用を展開していくことが重要となっています。このため、環境省は平成20年から「里地里山保全活用検討会議」を設置し、専門家の協力を得ながら、生物多様性の保全をはじめ多様な観点から里地里山の保全活用の取組の現状を把握し、その分析を通じてすぐれた手法や仕組みの事例を紹介することにより、各地の取組の促進を図っています。

この事例集は、平成22年9月に策定した「里地里山保全活用行動計画～自然と共に生きるにぎわいの里づくり～」を基本に、広く皆さんに里地里山の保全活用の意義について知っていただき、多様な主体による保全活用の取組が全国各地で国民的運動として展開されることを目的として、全国の特徴的な取組事例を紹介し、里地里山の保全活用に取り組もうと思っている皆さんの実情や関心に合ったヒントを見つけていただけるように作成したものです。

里地里山は、私たちが共有する原風景であるとともに、多様な主体による新たな活用の可能性に満ちた、未来に伝えるべきかけがえのない財産です。

あなたも、身近なところから、「自然と共に生きるにぎわいの里づくり」に参加してみませんか。

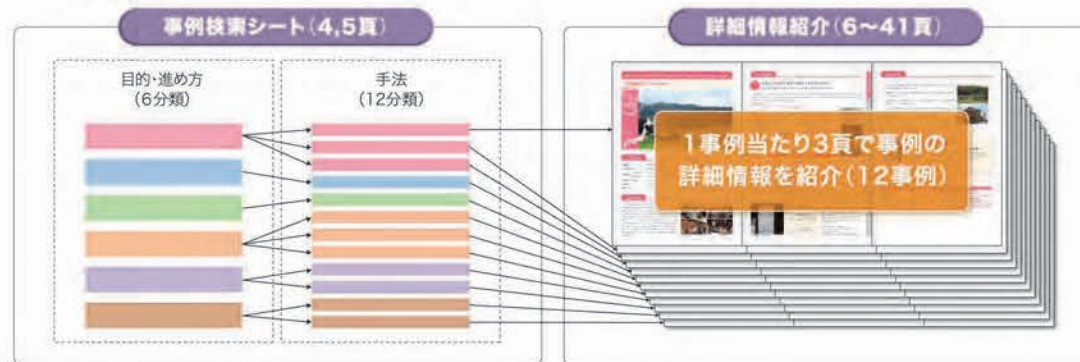
「自然と共に生きるにぎわいの里づくりのために」(本冊子)

第1章 事例検索と詳細情報(12事例)：4～41頁

全国各地で里地里山の保全活用に取り組もうとする方々が、各地域の関心に応じた取組の「目的・進め方」(6分類)を出発点として、その実現に向けた「手法」(12分類)から、役立ちそうな取組事例を検索し、詳細情報(12事例)を見ることができるようになっています。

これらの12事例は、これまでの環境省の事業によって「特徴的な取組」として抽出し調査を行った144事例の中から、手法(12分類)をよく表している事例を1つずつ選んだものです。

1事例当たり3頁で詳細情報を紹介しており、また、それぞれの末尾には、同じ手法に属する特徴的な取組事例の一覧表を示しています。



第2章 事例の分布図及び一覧表：42～49頁

特徴的な取組事例(144事例)について、全国の分布図と、地方別分布図・一覧表を示しています。



第3章 ホームページ「里ナビ」の紹介：50～51頁

ホームページ「里ナビ」と、その中に収録されている「里地里山保全活用データベース」について説明しています。

ホームページ「里ナビ」の掲載方法と利用方法

里地里山保全活用データベース



ホームページ「里ナビ」

<http://www.satonavi.go.jp/>

「事例データベース」では、全ての特徴的な取組事例(144事例)の詳細情報を見ることができます。

